

青葉山公園（仮称）公園センターの計画について

青葉山公園（仮称）公園センターの整備に関する懇話会

説明の流れ

1. 青葉山公園について
2. （仮称）公園センターの計画の前提条件について
3. （仮称）公園センターの計画の概要について

平成28年6月1日（水）

仙台市建設局百年の杜推進部公園課

1. 青葉山公園について

2. (仮称) 公園センターの計画の前提条件について
3. (仮称) 公園センターの計画の概要について

(1) 青葉山公園の概要

○面積

- ・計画面積：50.3ha

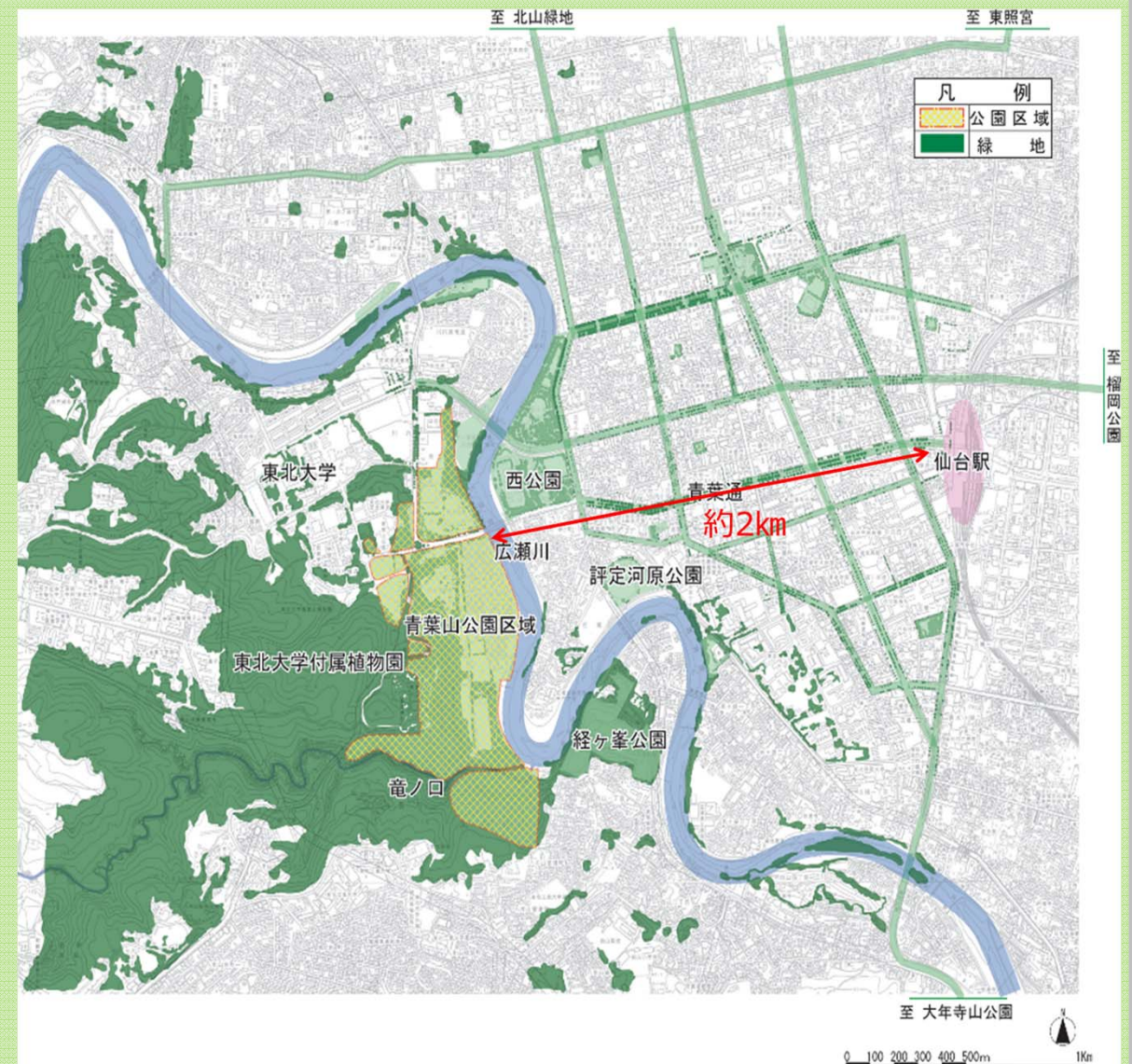
○主な施設

- ・仙台城跡本丸広場
- ・仙台市博物館
- ・仙台国際センター
- ・テニスコート

○変遷

- ・慶長 5年 伊達政宗が仙台城の築城を始める
- ・明治以降 旧陸軍の司令部が置かれ、軍の施設が集中
- ・昭和20年 追廻地区で応急簡易住宅（約600戸）の整備が始まる
- ・昭和21年 「仙台総合運動場」として都市計画決定（計画面積約22.5ha）
- ・昭和28年 都市公園として開園
- ・平成15年 国史跡指定「仙台城跡」
- ・平成16年 本丸北壁石垣修復完成
- ・平成27年 地下鉄東西線開業

○公園位置図



(2) 青葉山公園整備基本計画 ①

○基本目標

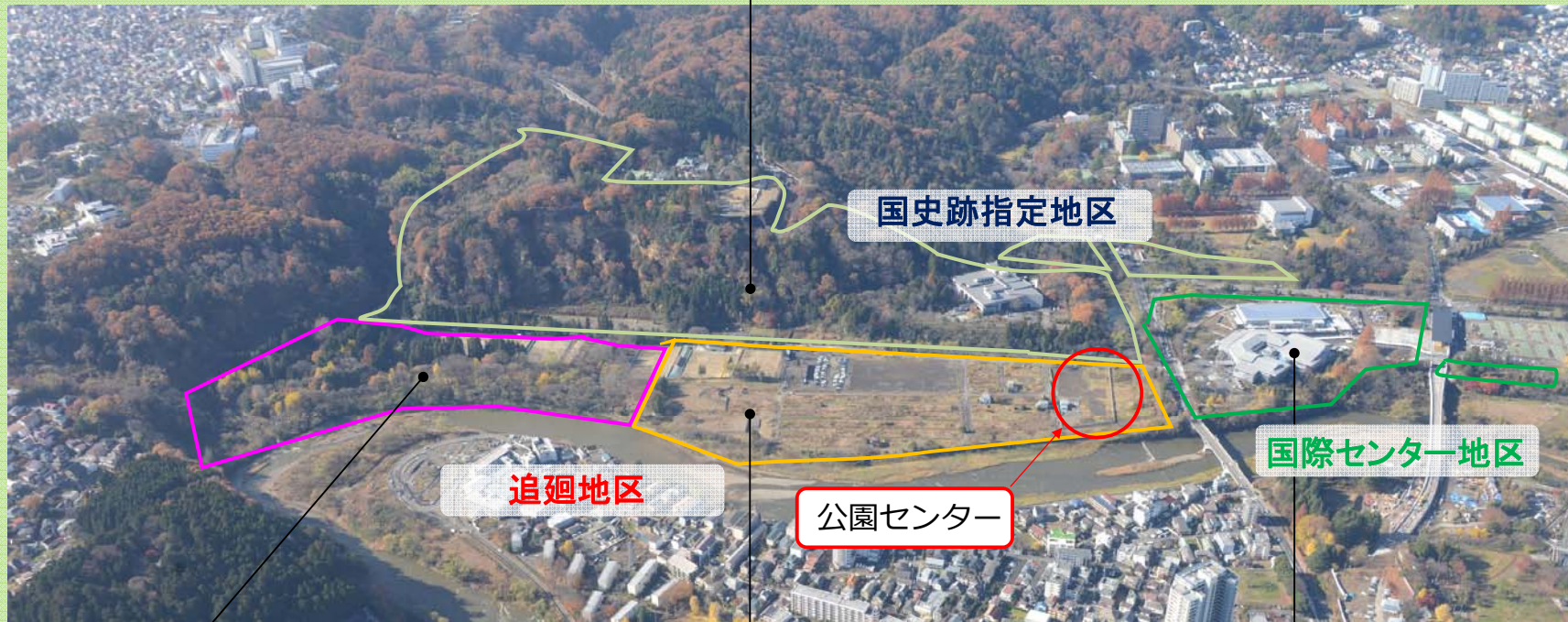
青葉山公園は、仙台の礎である仙台城跡を含む青葉山と広瀬川に囲まれた区域について、藩政時代からの歴史的・文化的資源や優れた自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備する。

(2) 青葉山公園整備基本計画 ②

○空間構成

歴史文化ゾーン

本丸跡の遺構等を保全するとともに、水堀の再生や土塁の顕在化による歴史的な景観を充実させ、歴史と文化が堪能できる空間



自然散策ゾーン

広瀬川や滝ノ口等豊かな自然が残る貴重な周辺環境を生かした自然散策を行える空間

いこい・にぎわいゾーン

広瀬川、本丸跡の眺望など、広がりとおもしろさのある空間を展開し、活動の場としても機能する空間

交流ゾーン

地下鉄東西線国際センター駅からの公園の玄関口として、来訪者の交流の場としての機能を持つ空間

(2) 青葉山公園整備基本計画 ③

○基本計画図



国史跡指定地区
(長沼(左) 五色沼(右) 平成28年度から整備)

国際センター地区
(平成27年度 完成)



1. 青葉山公園について
2. **(仮称) 公園センターの計画の前提条件について**
3. (仮称) 公園センターの計画の概要について

(1) 現況



写真① 長沼近辺から広瀬川方向



写真② 広瀬川河畔から対岸方向



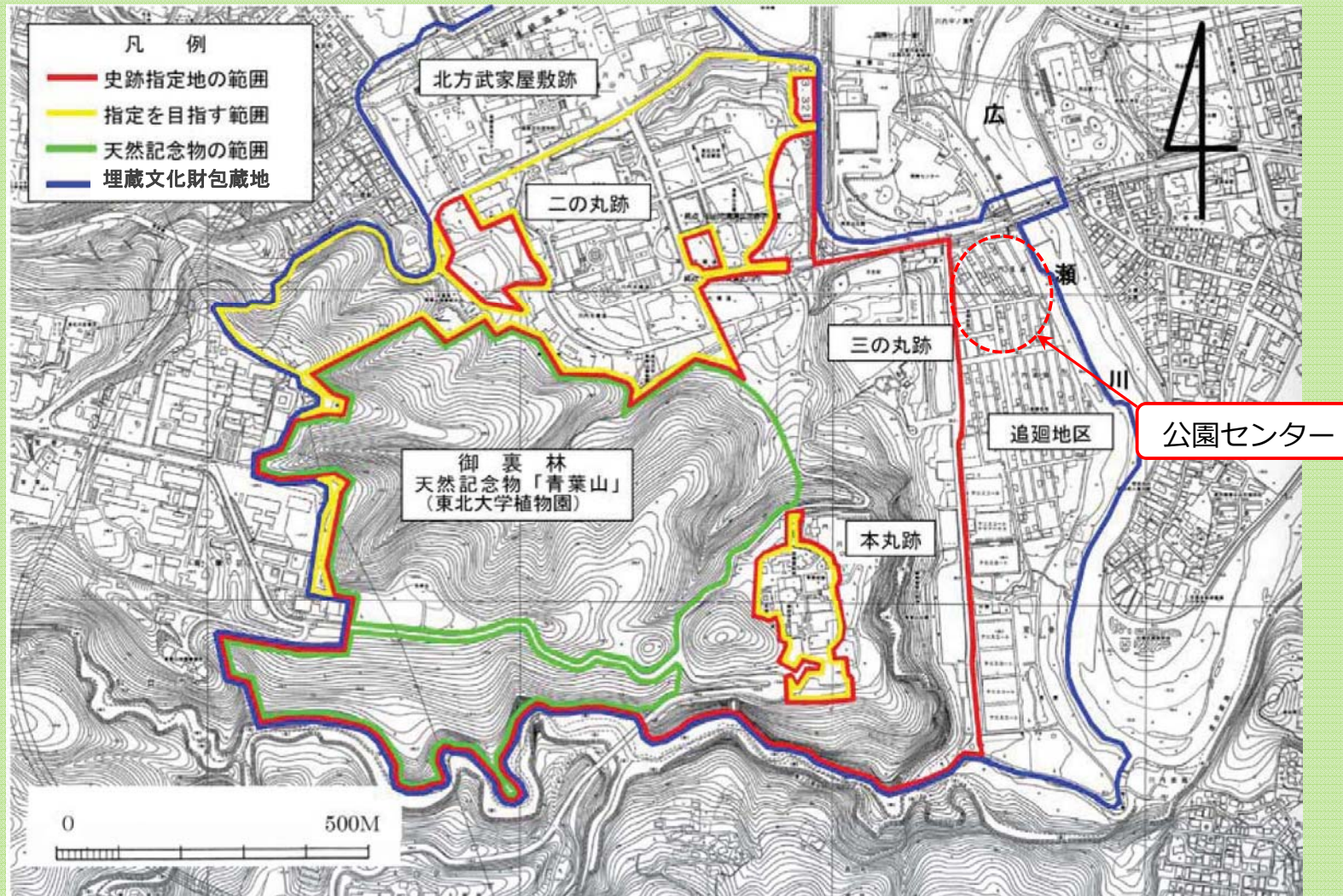
写真③ 広瀬川近辺から長沼方向



写真④ 大橋から広瀬川右岸方向

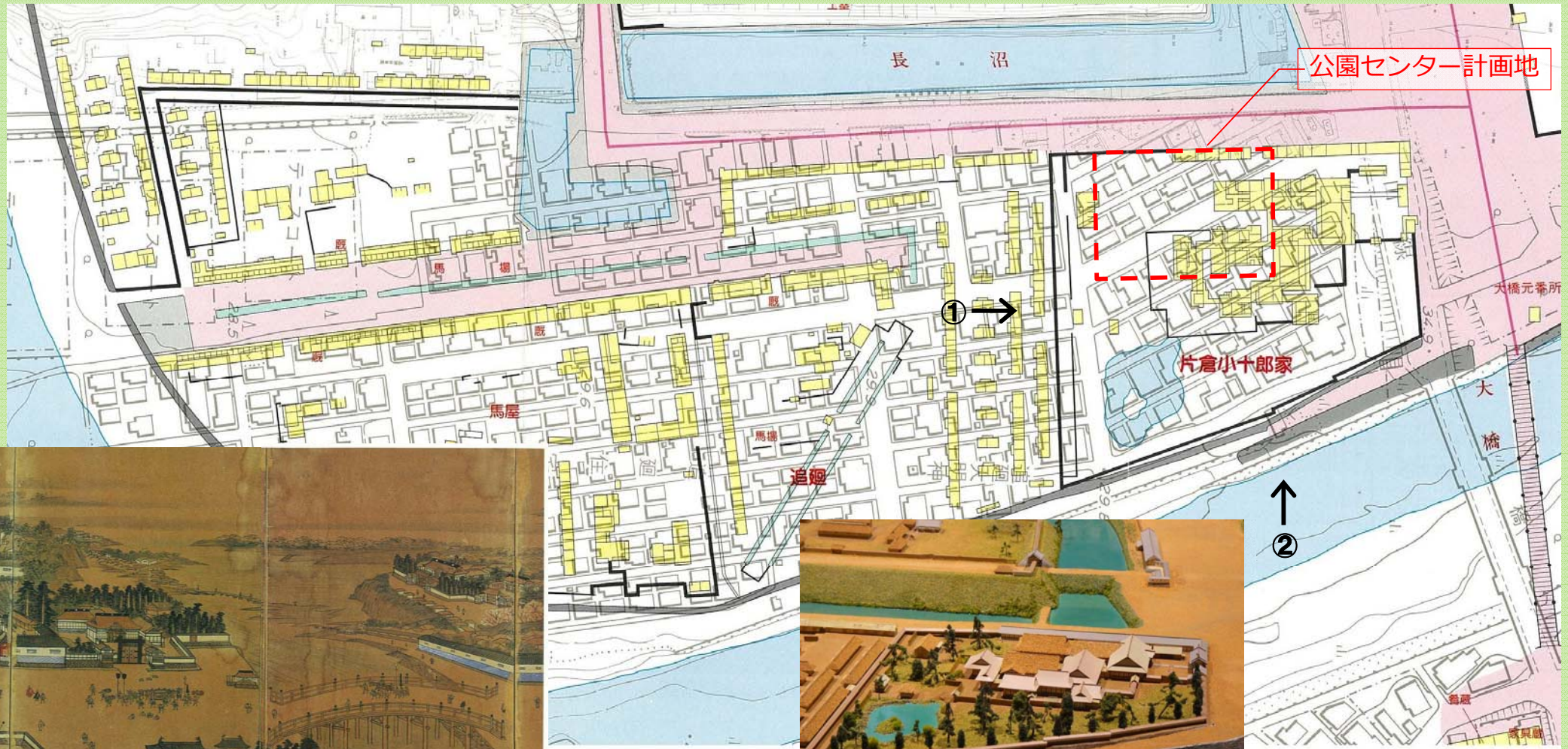
(2) 文化財 ①

公園センター計画地は 国指定史跡「仙台城跡」に隣接し、
埋蔵文化財包蔵地 に登録



(2) 文化財 ②

公園センター計画地は、伊達家の重臣 **片倉小十郎屋敷** があったとされる場所



※資料等に基づく推定図

図① 慶応元年仙台下図屏風(第四・第五扇)

図② 仙台市博物館の模型(片倉小十郎屋敷)

(2) 文化財 ③

【埋蔵文化財包蔵地 (文化財保護法)】

施設整備などの開発に際しては、事前に発掘調査を行い、保存を図ることが必要
平成24年度～26年度 遺構確認調査の実施



遺構の保護

- ・ 現在の地盤に盛土を行い、建物の基礎を盛土内に収める。
- ・ 建物は必要最低限の規模で、屋敷の主要部分があったとされる北側を極力避けて配置する。

(3) 関連計画における位置づけ ①

地下鉄東西線 (仮称) 国際センター駅周辺整備の基本的方向性 (平成24年1月)

国際センター駅周辺の整備にあたっては、次の三つの機能強化を図っていく

観光交流機能

- ・既存の観光資源の魅力向上と新たな観光資源の創出
- ・回遊ルートの形成、インフォメーション機能の整備
- ・利便施設 (休憩・飲食、物販等) の充実
- ・ビジターだけでなく、多くの市民が日常的に集い、憩い、楽しむことの出来る環境の整備

ミュージアム機能

- ・地区全体が一つのミュージアム空間となるような環境整備
- ・東北の歴史・文化など多様な魅力を発信
- ・「体験」「創作」「表現」など市民の創造的な活動や交流の拠点
- ・仙台の歴史、文化等に関する総合的な情報発信

コンベンション 機能

- ・学会等の大規模コンベンション需要への対応能力の拡大
- ・コンベンションの積極的誘致により、仙台・東北の復興を国内外に発信
- ・“おもてなし”も含めたコンベンション受け入れ環境を整備

公園センターに関わる

機能強化の方向性

仙台国際センター
東北大学萩ホール
国際センター駅上部空間

(3) 関連計画における位置づけ ②

青葉山公園整備基本計画（平成25年3月）

- ◎ 青葉山公園、仙台城跡方面への玄関口にふさわしい、来訪者に向けた「杜の都・仙台の歴史・文化の発信」
- ・ ビジターセンターとしての機能をベースとしつつ、青葉山公園の玄関口という立地特性や、藩政時代からの歴史性も踏まえた、仙台の歴史、文化の発信

<整備イメージ図>



(4) 計画地へのアクセス、公園内動線



【地下鉄、るーぷる仙台】

- ・ 仙台駅から地下鉄東西線やるーぷる仙台を利用して、仙台城本丸跡や博物館に向かう最短ルート上に位置し、立ち寄りやすい場所

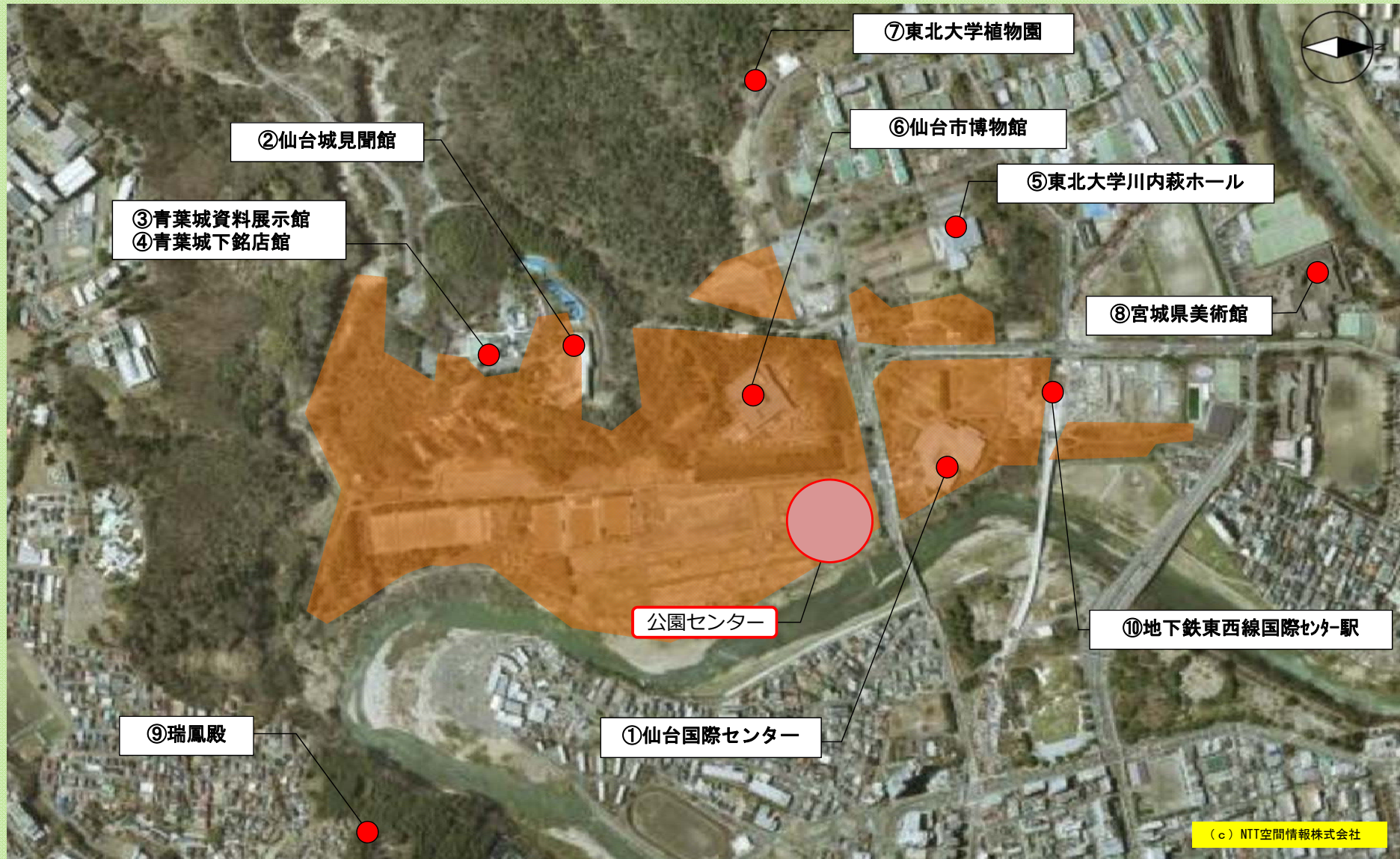
【乗用車・観光バス】

- ・ 乗用車や観光バスが大橋を経由して来園する主要ルートに隣接

【公園内動線】

- ・ 青葉山公園の歴史を楽しむ動線の起点、自然を楽しむ動線の起点

(5) 周辺施設の現況



- ・ 特定の目的を持って訪れる仙台市博物館、仙台国際センターなどの文化施設が集まっている
- ・ 気軽に立ち寄り、日常的に利用できる施設が少ない

(6) 市政モニターアンケートなど

市政モニターアンケート
(平成27年度
みどりの市民意識調査)

市政モニター 192名

市民活動団体ヒアリング

青葉山に関連する活動団体
歴史ガイド、広瀬川ガイドなど

民間事業者アンケート

飲食サービス、コンビニエンス
ストア、施設運営、旅行事業など

- ・ 来訪者がゆっくりする、くつろぐという視点を重視
- ・ 周辺案内や歴史解説等の情報提供
- ・ 周遊拠点、出発点としての機能
- ・ 気軽に利用できる飲食施設の整備
- ・ 広瀬川との連携や、広瀬川の景観を活かした機能
- ・ 建物だけではなく、広場や外構など周辺の利用を含めた機能
- ・ 市民活動団体との連携
- ・ 観光、散策時の休憩場所の整備

1. 青葉山公園について
2. (仮称) 公園センターの計画の前提条件について
- 3. (仮称) 公園センターの計画の概要について**

(1) 公園センターの役割

国際センター駅周辺地区の **観光交流機能**、**ミュージアム機能** を高め、ビジターだけでなく多くの市民が日常的に**憩い・楽しみ・集う**ことができる環境を整備する

特徴的な役割

- ◎ 広瀬川を身近に感じる、心やわらぐ憩いの場を創出
("気軽"に立ち寄れる "落ち着いた" 雰囲気)
- ◎ 歴史的風情と自然が感じられる"おもてなし"の場を創出
- ◎ 青葉山周辺の市民活動と連携し、ガイドウォークやイベントを充実
- ◎ 市民や観光客が共に楽しく交流する場を提供



憩い



楽しみ



集い

補完的な役割

- ◎ 仙台の歴史を身近に学び、歴史を知るきっかけをつくる
"めぐり"の起点 (仙台城跡, 博物館など)
- ◎ 体験・創作・表現により、仙台の文化を発信



楽しみ



楽しみ・集い

(2) コンセプト

仙台・青葉山を身近に感じ、多様な交流を育む

都市部に近く、青葉山と広瀬川に囲まれた自然豊かな環境の中で、ゆったりとした時の流れに身をおきながら**憩い・楽しみ・集い**、多様な交流を育む

藩政時代に培われた歴史性と現代をバランスよくエリア全体に反映させることで、市民と観光客にとって魅力的な公園センターをめざす

憩い

楽しみ

集い

公園センターの施設検討

(3) 施設整備の基本的な考え方

建物だけではなく、広場や外構などの周辺利用を含めた機能展開を図る

- 青葉山公園の玄関口として歴史・文化を発信
- 魅力的な外観で立ち寄りたくくなるような施設
- 市民、観光客など様々な人が利用でき、憩い・楽しみ・集うことができる施設
- ユニバーサルデザインとインバウンドへ対応
- 歴史、自然、都市部近隣などの立地特性を生かす
- 歴史遺構保全や景観に配慮



(4) 施設内容イメージ ① (憩いの空間)

憩い

くつろぎカフェ

青葉山の自然に溶け込むくつろぎといこいのカフェ

- ・ 来訪者がゆっくりと楽しむことができる心地よいゆとりの空間
- ・ 屋外テラスやなごみの庭を一望できる開放感
- ・ オープンライブラリーを併設し、仙台の文化や歴史を気軽に学べる空間
- ・ 屋外イベント時のケータリングなどに柔軟に対応できるバックヤード



ホテル伊豆急

なごみの庭

広瀬川のほとりの落ち着いた庭

- ・ 訪日外国人などを、和の文化でおもてなし
(散策、休憩、野点など)
- ・ 伊達家上屋敷跡の庭園遺構石材を利用するなど



梅小路公園

桜の小径

国際センター駅からつづく広瀬川沿いの桜の小径を、公園センターから自然散策ゾーンにも整備

- ・ 途中に広瀬川を眺望しながら休憩できる小広場を設置
- ・ 広瀬川の水辺に降りられる通路を整備



伊達家上屋敷庭園跡

(4) 施設内容イメージ ② (楽しみの空間)

楽しみ

青葉山公園や仙台城跡の入り口にふさわしい、公園や周辺施設の情報提供

青葉山周辺インフォメーション

- ・青葉山公園や周辺施設の見どころや、旬な情報の展示
- ・周辺施設にも興味を持てるような案内や誘導

ガイダンスホール

- ・青葉山公園、周辺の歴史・文化の解説や集合場所
(ガイドボランティアとの連携、エクスカーションなどの起点)
- ・通常時は休憩場所としても利用

青葉山歴史ミュージアム

- ・仙台の歴史を体感しながら学べる展示や仙台城跡遺構紹介など、
仙台の歴史を知るきっかけづくりの場
- ・仙台市博物館等周辺施設の関連展示

館内インフォメーション

- ・公園センターの施設案内
- ・訪日外国人への対応



関西学院大学博物館



熊本城 城彩苑



グランフロント大阪
TheLAB

(4) 施設内容イメージ ③ (集いの空間)

集い

交流・体験スペース

市民と観光客が親しむことができる交流の場

- ・文化活動、学びの場
(公開講座、すずめ踊り体験など)
- ・イベントやパーティなど交流の場
(ユニークベニュー、物産展などの会場)
- ・市民活動団体の活動の場
(活動拠点・成果の発表)
- ・仙台の四季折々の祭の紹介など
- ・仙台ならではの工芸体験、創作活動 (ミニ七夕飾りなど)
- ・緊急時の避難場所としての利用



金沢市民芸術村

※車両乗降エリア

- ・公園センターに直接アクセスできる、
タクシー乗降所、バリアフリー、団体バス乗降所、
ダテバイクポート、駐輪場を整備

にぎわい広場

- ・来訪者を迎える正面の広場
- ・イベントなどでにぎわう交流の広場



噴火湾パノラマパーク

屋外テラス

- ・広瀬川のせせらぎを身近に感じる
やすらぎの空間
- ・川面を見渡せる階段状のデッキ
- ・屋内のカフェや広場と一体感のある
オープンテラス
(夜間の営業、ビアガーデンなど)



お台場カフェデッキ

中央広場

- ・パーティーなど屋内外を一体的に利用
する交流の広場
- ・隣接する自然散策ゾーンに連続して
広がる空間



天王寺公園

(5) 外観イメージ

- 内部から周辺の豊かな自然を見渡すことができ、外部からは展示や活動の様子が見えやすいようなデザインとする
- 景観などへの配慮により、平屋建てを基本とする

A案 和風 大屋根1枚案



B案 和風 複数屋根案



C案 現代風 流線型屋根案

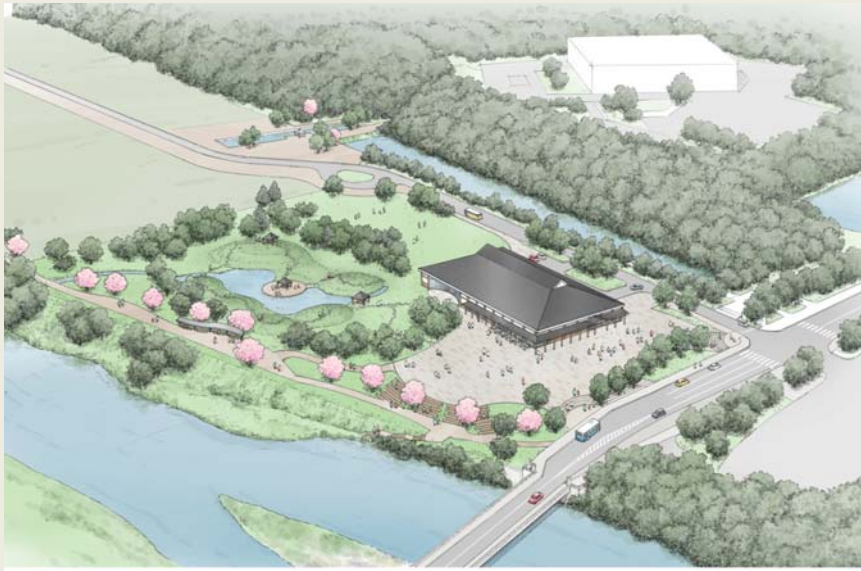


D案 現代風 フラット屋根案



(5) 外観イメージ (鳥瞰図)

A案 和風 大屋根1枚案



B案 和風 複数屋根案



C案 現代風 流線型屋根案



D案 現代風 フラット屋根案

